

1

学年

3観点に即した改善プラン

①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等

③学びに向かう力・人間性等

	最も課題のある 観点	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立っ た授業における具体的な手立て	年度末評価 (2月)
国語	②思考力・判断力・表現力等	4人グループでの言語活動を毎授業で取り入れ、習得した知識・技能を活用して思考する課題を解決していくことを通して、生きた学力を育成する。	
数学	②思考力・判断力・表現力等	思考・判断・表現の能力向上のために、基本的な内容の習得を重点に置き、問題演習等を計画的に取り組んでいく。また、グループワークやICTを活用し考え方を共有することで幅を広げていくことを目指す。	
英語	②思考力・判断力・表現力等	ペア・グループでの発話活動を多く取り入れ、「聞くこと・書くこと」を通して必要な情報を選択する能力、ならびに学習した内容を「話すこと【やり取り】【発表】・書くこと」を通して表現する能力を高めることを目指す。	
社会	③学びに向かう力・人間性等	単元を見通した問いや生徒自身がたてた問いをもとに、自分で学習計画をたてて学習を進める。学習を進める中で他の生徒との協働が生まれ、対話を通して知識を獲得していく学習環境を整える。	
理科	②思考力・判断力・表現力等	実験結果より、考察を一つ一つ多角的に考え、班で共有し、班で考える中で、実験技術とともに論理的思考・想像力を深める。また、失敗した結果の中から、その理由を考察していく。	
音楽	③学びに向かう力・人間性等	知識・技能の観点と関連付けながら、粘り強く取り組む力について指導の個別化や学習の個性化、指導と評価を往復させることで改善していく。	
美術	③学びに向かう力・人間性等	思考・判断・表現の観点と関連付けながら、粘り強く取り組む力について、個別の指導を重点的に行いながら改善していく。	
保健 体育	②思考力・判断力・表現力等	男女共習の授業を行い、そのよさを意識して授業を充実させる。また、4人一組やグループでの話し合い活動を積極的に取り入れていく。 ICT 機器や学習カードを活用し、振り返りの時間をつくり、話し合い活動の場を意図的に設ける。	
技術 家庭	技術②思考力・判断力・表現力等 家庭②思考力・判断力・表現力等	木工製作では、生活の中にある課題を発見し、解決する製品を考え設計・製作し、改良・改善を行うことで、問題解決能力を育む。 食の領域の様々な課題やその解決策について具体的に表現することができるように、自分で考える場面と4人一組のグループで取り組む場面を設定するとともに、ICTを活用することで学び合いを深められるようにする。	